

6月にはストーブをつける日もありましたが、これからは窓を開け冷風扇が活躍するでしょう。今のところ当地方へのコロナ拡大はなく、新北海道スタイルの実践を急いでいます。

このページの私の写真は、本町出身の写真家・倭田さんによるもので、彼は私の次男と同級生でもあり、息子と話すイメージで昨年の撮影に至りました。他の町民の皆様を紹介ページも別にあるそうで、都市部での展示発表も検討されています。

6月中旬から待望のシジミ漁が始まりました。資源管理のため販売量は制限されていますが、特大でキロ2千円超えの値打ちはありそうです。農家の皆さんは牧草収穫の最盛期を過ぎたところですが、収穫祭ともいべき巖島神社祭もしじみまつりも中止となり、日焼けした皆さんとお会いする機会が少ないのが残念です。

コロナ対策として国の10万円定額給付金は5月からはじまり9割超え、飲食店などへの町の持続化支援給付金20万

円も順調、子育て世帯の牛乳券、高齢者へのタクシー券も支給を終え、7月からは50%プレミアム付き商品券の引換です。あとは病院の発熱外来新築工事の着工完成を待つだけです。今後も経済対策と感染予防に積極的に対応していきましょう。

やっと会議や出張予定が入りだしました。日本人というか特に役所関係は「会議が好き」なことを「書面对応で可」であったことを実感させられた数ヶ月でした。同時に「広報」はともかく「広聴」の大事さと、その手段の確保・保証が行政の根幹であることも意識させられました。町に対するご意見要望など電話・メール・手紙もお待ちしています。